

令和7年度 脱炭素ふじさわ市民会議

藤沢市における地球温暖化対策について

(ゼロカーボン推進課)

本日の内容

- はじめに
- 1 温暖化対策の計画
- 2 温暖化対策の取組

P. 2～ 3

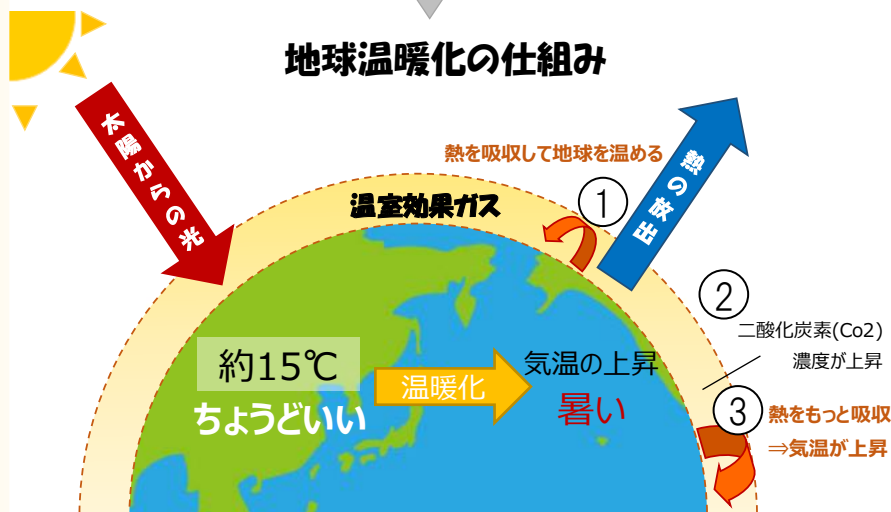
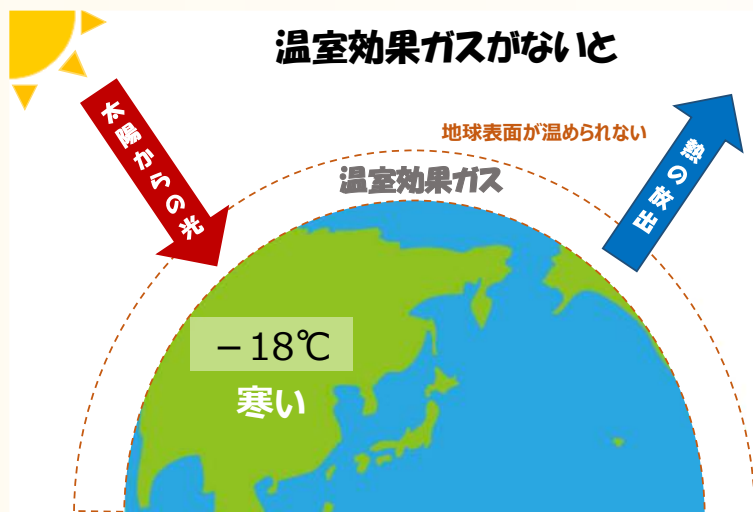
P. 4～21

P.22～32



【藤沢市 環境部 ゼロカーボン推進課】

はじめに 地球温暖化とは



地球温暖化のしくみ

太陽からのエネルギーで地上が温まる

①

地上から放射される熱を温室効果ガスが吸収・再放射して大気が温まる

②

温室効果ガスの濃度が上がると

③

温室効果ガスがこれまでより強くなり地上の温度が上昇する

これが**地球温暖化**



大気中に温室効果ガスが無かったら
⇒地球の表面温度はマイナス18℃程度となることから、温室効果ガスは人類に無くてはならない存在。

- ① これまでは、「温室効果」により地球の平均温度は約15℃維持
- ② 近年、産業活動が活発になり、温室効果ガスが多量に排出
⇒大気中で熱の吸収が増える
- ③ 結果、過剰に気温が上昇している

必要以上に温室効果が働き**地球温暖化**につながっています。



2050年**ゼロ**カーボン

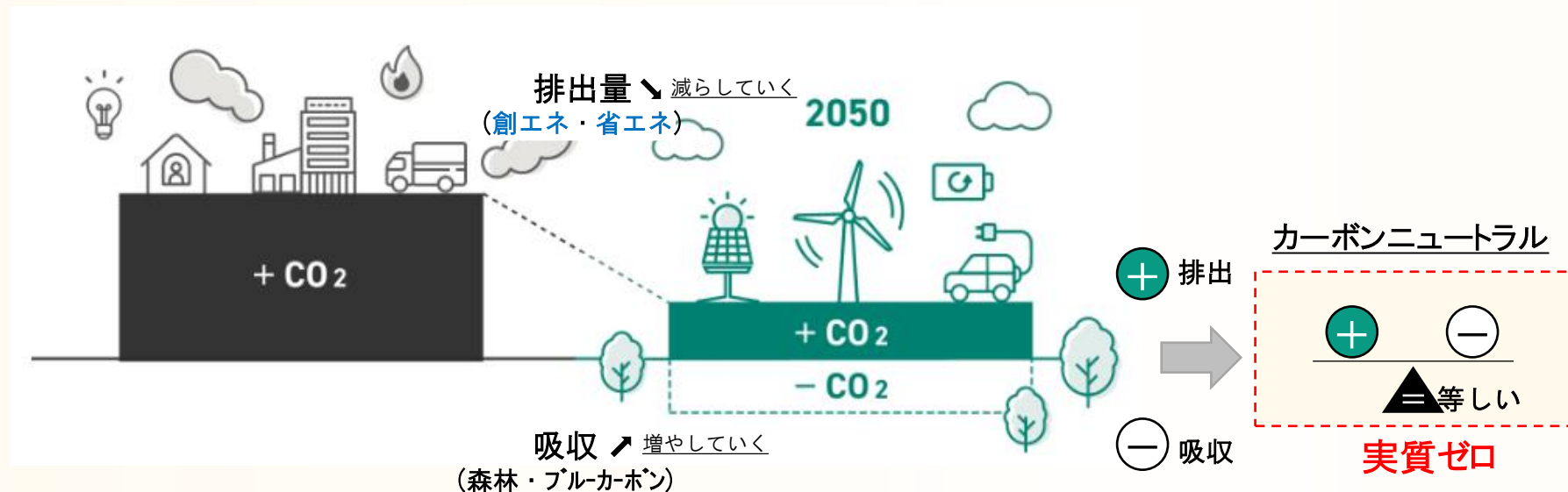
みんなで始めよう未来のために

そもそもゼロカーボン(カーボンニュートラル)とは

現在



将来



二酸化炭素をはじめとする**温室効果ガスの排出量と吸収量を等しくする**ことを意味します。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減をするとともに、吸収作用の保全及び強化をする必要があります。

※ゼロカーボンとは 地球温暖化の原因となる温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を、森林などが吸収する量以下に抑え、温室効果ガスの実質的な排出量をゼロにすることです。



2050年**ゼロ**カーボン

みんなで始めよう**未来**のために

出典) 環境省ホームページ

1. 温暖化対策の計画

藤沢市では2021年(令和3年)2月に「**藤沢市気候非常事態宣言**」を表明しました。

- 脱炭素社会の実現に向け、**2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ**を目指します。
- 気象災害から**市民の安全な暮らしを守るため、風水害対策を強化**します。
- 気候変動の危機的状況を市民、事業者、行政など**あらゆる主体が広く情報共有し、協働して気候変動対策に取り組みます**。



2022年(令和4年)3月に計画改定

- ▷藤沢市環境基本計画
- ▷藤沢市地球温暖化対策実行計画
- ▷藤沢市環境保全職員率先実行計画

藤沢市気候非常事態宣言

近年、地球温暖化の影響とみられる記録的な猛暑、大型化した台風や局地的な集中豪雨による土砂災害や洪水被害、大規模な干ばつなど、異常気象による災害が世界各国で発生し、甚大な被害をもたらしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界全体の平均気温の上昇を、産業革命前に比べ2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力をする」目標が国際的に広く共有され、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書において、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする必要がある」とされています。

藤沢市としても、美しい砂浜が広がる湘南海岸、みどり豊かな里山など、かけがえのない自然環境を未来の世代に残し、引き継いでいく必要があります。

こうした背景から、気候危機が人々に深刻な影響を与え、脅威となっている状況を市民や事業者などあらゆる主体が認識し、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向け、力を合わせて取り組んでいくため、藤沢市は、ここに気候非常事態を宣言します。

- 1 脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。
- 2 気象災害から市民の安全な暮らしを守るため、風水害対策を強化します。
- 3 気候変動の危機的状況を市民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報共有し、協働して気候変動対策に取り組みます。

2021年(令和3年)2月15日

藤沢市長 鈴木 恒夫

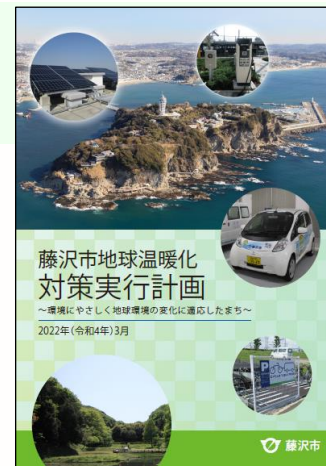


2050年**ゼロ**カーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市地球温暖化対策実行計画

- 2011年（平成23年）3月に策定
- 2022年（令和4年）3月に改定



計画の趣旨など

趣 旨	国の目標及び「藤沢市気候非常事態宣言」を踏まえ、 <u>2050年（令和32年）における温室効果ガス排出量を実質ゼロとするための削減目標</u> を設定し、市民・事業者・行政の各主体が担う役割を明確にしながら、目標達成のための施策を定める
目 標	2030年度における温室効果ガス排出量を <u>2013年度比で46%削減</u>
計画期間	2022年度～2030年度（9年間）



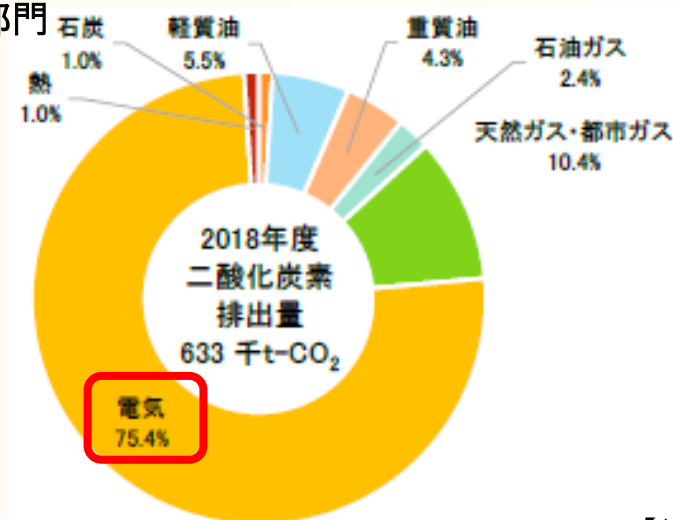
本編P.24～に掲載

藤沢市地球温暖化対策実行計画

第3章 本市の現状

(4) エネルギー別二酸化炭素排出割合 (2018年度)

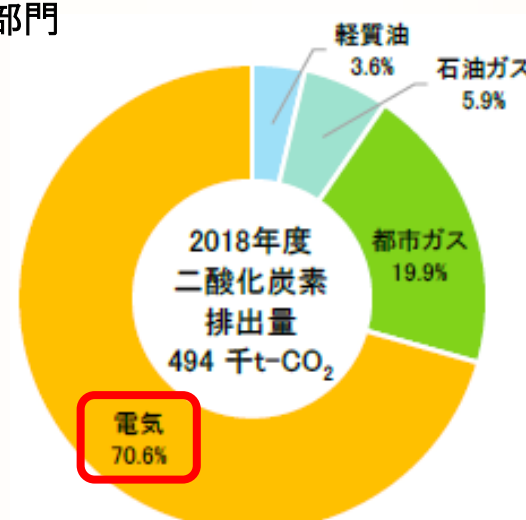
◆業務その他部門



【促進】

- ・ LED照明や高効率空調などの省エネ設備
- ・ 太陽光発電システムなどの再生可能エネルギーの活用

◆家庭部門



【促進】

- ・ LED照明や高効率給湯器などの省エネ設備
- ・ 太陽光発電システムや蓄電池の導入



エネルギー別二酸化炭素排出割合の7割以上が電気です

⇒ 電気使用量の減少がCO2削減につながります



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市地球温暖化対策実行計画



第4章 温室効果ガス排出量の将来推計および削減目標

(4) 部門別の削減目標量と削減ターゲット

本編P.34～に掲載
排出量実績値
(1,000t/CO₂)

排出削減目標値
(1,000t/CO2)

	2013 (基準年度) (A)	2018 (現状年度) (B)	現状維持 排出量 (C)	2030 (目標年度)						目標 排出量 (E)	基準 年度比 =1-(え/あ)
				削減目標量							
				国等と連携して進める対策	市の施策	電力排出係数の低減	再生可能エネルギーの導入	廃棄物の削減	小 計 (D)		
産業部門	943	828	828	92.77	21.07	172.81	15.18	—	302	526	△44.3%
業務その他部門	835	633	652	16.44	34.18	229.07	1.89	—	282	371	△55.6%
家庭部門	565	494	510	14.59	57.15	167.61	5.66	—	245	265	△53.1%
運輸部門	404	378	390	4.78	67.60	10.52	—	—	83	307	△24.0%
廃棄物部門	36	44	43	—	—	—	—	2.21	2	40	11.7%
合計	① 2,783	2,377	② 2,422	128.58	180.00	580.01	22.73	2.21	③ 914	④ 1,508	△45.8%

※ 削減目標量の大きいものを赤文字



【部門別】では産業部門、業務その他の部門の排出比率が高い

【市の施策】では家庭部門、運輸部門における削減目標量が多い

⇒市単事業では、家庭部門の「住宅の電気使用量の削減(創エネ・省エネの促進)」、運輸部門における「次世代自動車の普及促進」を推進。



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市地球温暖化対策実行計画

第5章 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) 計画の基本方針



本編P.37～に掲載

基本方針 1 省エネルギー対策の推進

＜主要施策＞

- 市民・事業者における脱炭素型ライフスタイルの促進
- 協働・連携による脱炭素型ライフスタイルの促進
- 省エネ設備等の導入促進



基本方針 2 エネルギーの地産地消

＜主要施策＞

- 再生可能エネルギーの導入によるエネルギーの地産地消
- 自立・分散型エネルギー社会の形成に向けた仕組みづくり



基本方針 3 環境にやさしい都市システムの構築

＜主要施策＞

- 環境にやさしい移動手段の促進
- 緑化の推進
- 農地の保全



基本方針 4 循環型社会の形成

＜主要施策＞

- ごみの減量化・再資源化の推進
- 循環型社会形成への意識の醸成
- 雨水の利活用



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

※ 本編P.38～48に「各主体の取組」を記載

藤沢市地球温暖化対策実行計画

令和4年度温室効果ガス排出量（速報値）

（単位：千t-CO₂）

	2013 H25	2020 R2	2021 R3		2022速報値 R4		2022-2021 対前年	2030 R12	2030 R12
	基準年度	排出量	排出量	基準年度比	排出量	基準年度比	排出量	目標年度	R3計画値
産業部門	943	808	837	△11.3%	870	△7.7%	34	526	526
業務その他部門	835	574	618	△26.0%	610	△26.9%	△8	371	371
家庭部門	588	542	510	△13.3%	527	△10.4%	17	276	265
運輸部門	404	335	332	△17.8%	356	△11.9%	24	307	307
廃棄物部門	36	40	48	33.3%	45	30.0%	△3	40	40
合計	2,807	2,299	2,345		2,409		64	1,520	1,508
削減率		18.1%		16.4%		14.2%	△2.2ポイント	—	—

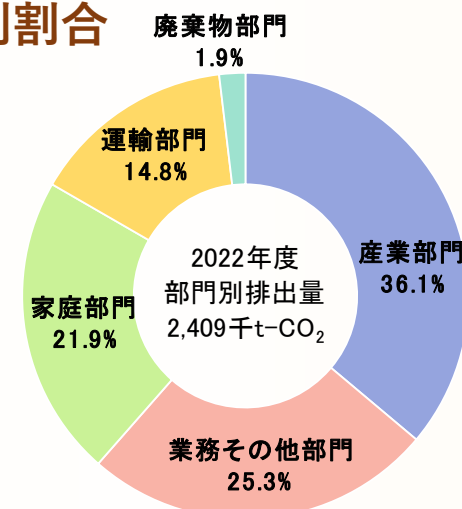
排出量算定方法

環境省のマニュアルに基づき、各年度の全国もしくは神奈川県のエネルギー使用量をもとに炭素排出量を算出し、本市の製造品出荷額や世帯数等の活動量に関する統計資料データを用いて、本市の炭素排出量を推計し算定しています。

各部門			炭素排出量等	活動量
産業部門	製造業		県炭素排出量	製造品出荷額等
	鉱業・建設業		県炭素排出量	就業者数
	農林水産業		県炭素排出量	就業者数
業務その他部門			県炭素排出量	延床面積
家庭部門			県炭素排出量	世帯数
運輸部門	自動車	貨物	全国炭素排出量	保有台数
		旅客	全国炭素排出量	保有台数
	鉄道		各社エネルギー使用量	延長距離

廃棄物部門	項目
一般廃棄物の焼却	一般廃棄物焼却量（搬入量）、プラスチック及び合成繊維の割合
排水処理	し尿処理量、浄化槽利用人口、終末処理量

部門別割合



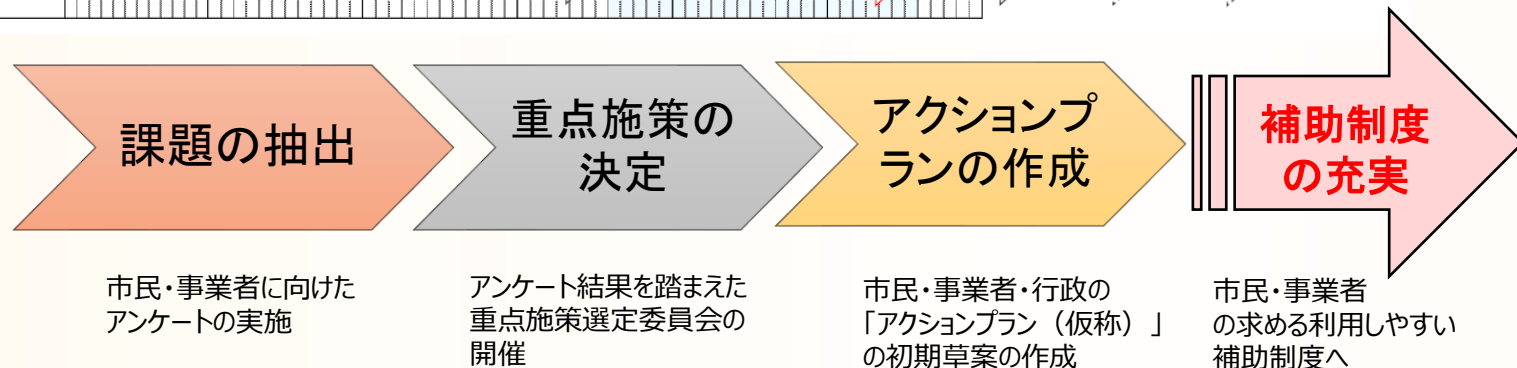
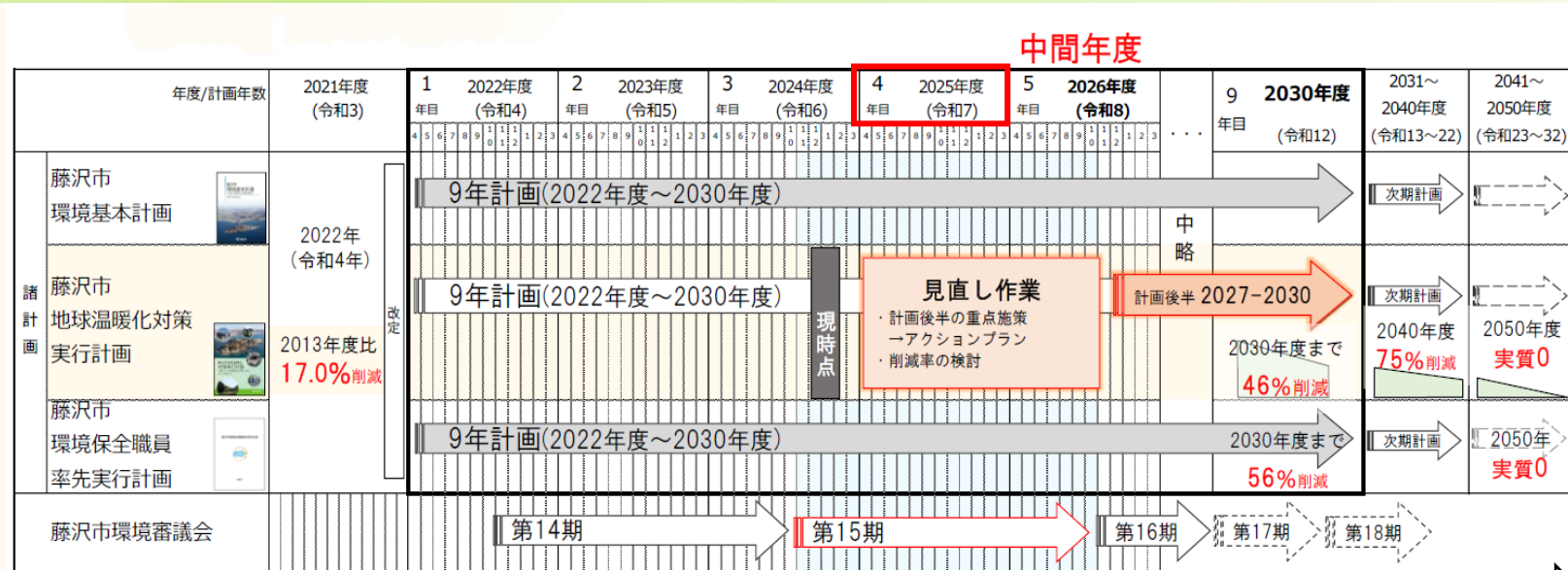
家庭部門は全体の約2割



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市地球温暖化対策実行計画の中間見直し

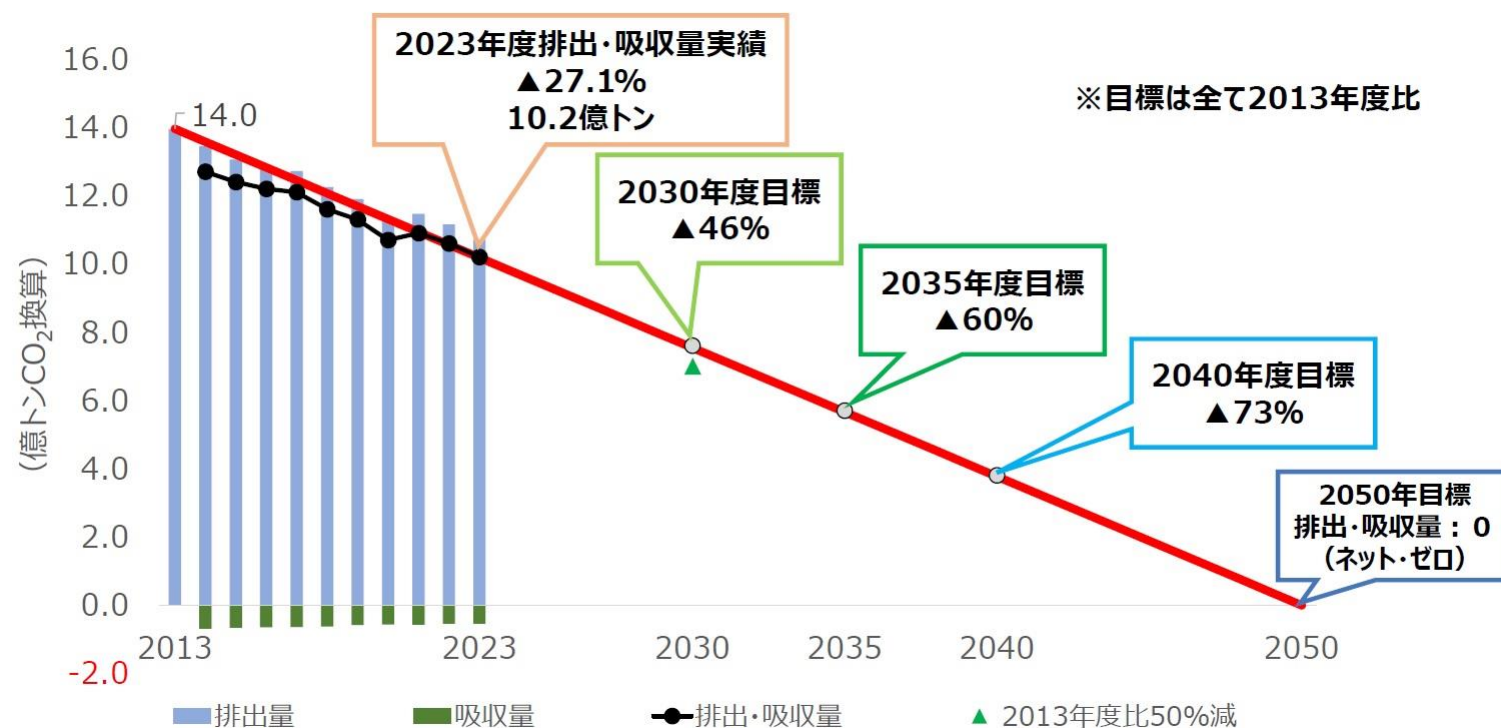


今後の方向性

国の「地球温暖化対策計画」改定への対応

▷ 国の削減目標

- ・ 1.5℃目標に整合的で野心的な目標として、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減することを目指す。



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市環境保全職員率先実行計画

- 2011年（平成23年）3月に策定
- 2022年（令和4年）3月に改定



計画の趣旨など

趣 旨	市の事務及び事業における温室効果ガス排出量の削減、吸収源の保全及び強化を率先的に実施し、市域全体の温室効果ガス排出量の削減に寄与する
目 標	2030年度における温室効果ガス排出量を <u>2013年度比</u> で56%削減
計画期間	2022年度～2030年度（9年間）

藤沢市環境保全職員率先実行計画

基本方針1 省エネルギー対策の推進



＜主要施策＞ ■脱炭素型ライフスタイルの実践

空調の適正温度設定、昼休みの消灯、PCの電源OFFもれ防止、
階段の利用励行・冷蔵庫の適正温度設定



【LED照明】

■省エネ設備等の導入促進

高効率空調・照明への更新、人感センサーの導入、
施設の新築・改修時の断熱対策（窓ガラス・外壁等）

基本方針2 再生可能エネルギーの利用



＜主要施策＞ ■再生可能エネルギーの導入

太陽光発電システム等の率先的な導入、蓄電池の導入、
廃棄物焼却に伴う廃熱を利用した発電・その利用



【太陽光発電設備】

■温室効果ガス排出量の少ない
エネルギーの選択

再生可能エネルギーの導入、
カーボンニュートラルガスなど温室効果ガスの排出のない燃料への転換

基本方針3 環境にやさしい移動手段・緑化の推進



＜主要施策＞ ■環境にやさしい移動手段の推進

電気自動車など次世代自動車の導入、カーシェアの利用の検討、
近距離は自動車の使用を控え徒歩や自転車、エコドライブの実践

■緑化の推進

敷地内の緑地の整備、壁面や屋上の緑化の検討

基本方針4 ごみの減量化と資源化



＜主要施策＞ ■ごみの減量化

両面・裏紙印刷及びPC持込会議による紙使用量の削減、
簡易包装・詰替製品の購入、マイボトル・マイバッグの利用

■ごみの資源化

ごみや資源の分別徹底、
グリーン購入法適合製品の購入



2050年ゼロカーボン

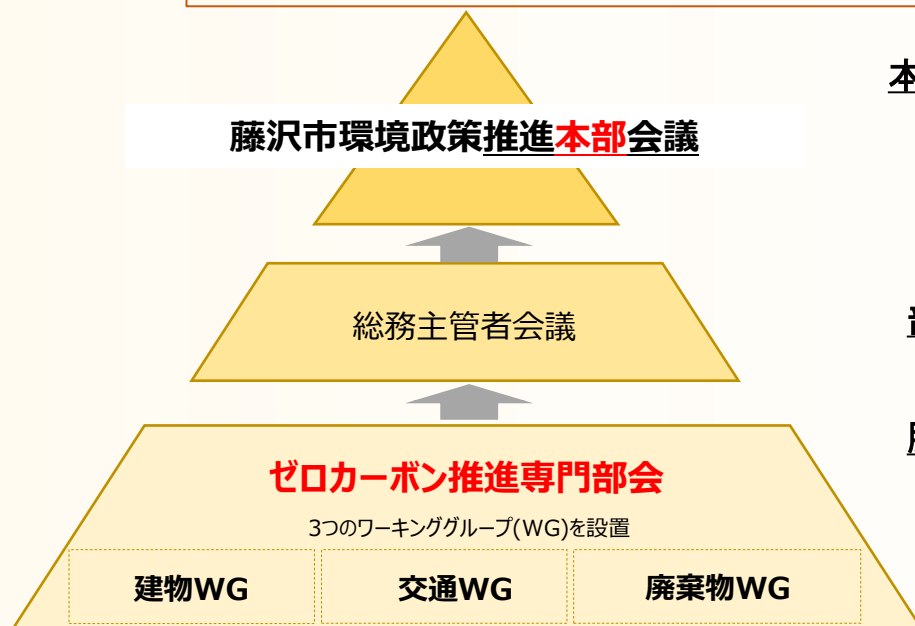
みんなで始めよう未来のために

藤沢市環境保全職員率先実行計画



市役所が1事業者として取り組む**56%**削減に向けて **推進体制の強化**

2023年7月 「藤沢市環境政策**推進会議**」を「藤沢市環境政策**推進本部会議**」に改める
2024年5月 「**ゼロカーボン推進専門部会**」を立ち上げ、庁内統一的な取組方針を協議



本市の環境施策の推進及び総合調整

【**本部長**】 藤沢市長
【**副本部長**】 両副市長、教育長
【**本部員**】 全部局長

部局間の調整

脱炭素に向けた施策に係る方針・取組計画

【**建物WG**】太陽光発電、高効率設備などの導入
【**交通WG**】EV自動車、カーシェア、EV充電器などの導入
【**廃棄物WG**】ごみの減量化、ごみの資源化

【2023年7月 第1回 環境政策推進本部会議資料(改)】

藤沢市環境保全職員率先実行計画

1事業者として取り組む削減目標
2013(H25)年度比で**56%削減**



1. 全庁一丸となって進める「公共施設の削減対策」

2024年8月「公共施設に関する温室効果ガス排出量削減方針」を策定

市が
1事業者として

(1) 優先順位の選定

第1優先 **【創エネ】太陽光発電設備の導入**

屋根置きなど「**自家消費型の太陽光発電設備の設置**」による再生可能エネルギー創出

第2優先 **【省エネ】LED照明設備の導入**

蛍光灯の製造・輸出入廃止(2027年)を視野に入れた「**照明のLED化**」による省エネルギー対策

第3優先 **【再エネ】再生可能エネルギーの導入**

創エネ・省エネの余地が無い施設に対する「**再生可能エネルギー由来の電力購入契約**」への切替



2050年**ゼロ**カーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市環境保全職員率先実行計画


1事業者として取り組む削減目標
2013(H25)年度比で**56%削減**



2. 公共施設の脱炭素化

- 【創エネ】 ▶ PPA事業※ 小・中学校、朝日町平置き駐車場など 4 施設で実施
 - 【創エネ】 ▶ 太陽光発電 71施設で設置 + 新たに5施設が候補
 - 【省エネ】 ▶ LED照明 市立小・中特別支援学校17校、街路灯などでLED化
 - 【再エネ】 ▶ 再エネ電気 87施設で導入 + 新たに45施設が候補
 - 【再エネ】 ▶ **カーボンオフセット都市ガス** 市役所本庁舎・分庁舎で導入 など
- ※PPA事業とは、事業者が施設に太陽光発電設備を設置し、施設側は設置された設備で発電した電気を購入する契約のこと。施設側(市)は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができます。



市役所本庁舎・分庁舎・防災センターの
3 施設ではゼロカーボンを**実現** 



朝日町3施設【ゼロカーボンエリア】



ゼロカーボン
推進課がサポート



2050年**ゼロ**カーボン

みんなで始めよう未来のために

藤沢市環境保全職員率先実行計画

1事業者として取り組む削減目標 2013(H25)年度比で**56%削減**



3. 温室効果ガスの推移

2030(R12)年度における温室効果ガス排出量を、2013(H25)年度比で**56%削減**目標

⇒ 最新2024(R6)年実績 **△28.8%**

※各課がLAPSSIに入力したデータを基に算定。対象は電気、都市ガス、LPG、A重油、灯油、ガソリンなどに関するエネルギー使用量となります。

(単位:t-CO2)

対象項目		年度	2013	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024			2030
			H25	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6			R12
			基準年度								排出量	対前年	基準年度比	目標年度
エネルギー由来	電気		40,998	24,111	25,100	28,433	27,567	28,645	28,107	24,097	24,563	466	-40.1%	18,203
	都市ガス		9,699	10,586	10,888	10,437	10,357	11,143	10,969	10,582	10,986	404	13.3%	4,306
	LPG		332	434	404	380	346	375	384	322	365	43	9.9%	147
	LNG		0.8	4	4	2	0.1	4	0	0.4	0	-0.4	-	0.4
	ガソリン		478	487	489	476	425	452	501	496	473	-23	-1.0%	212
	軽油		536	757	647	623	851	590	590	584	582	-2	8.6%	238
	A重油		118	104	97	88	50	85	87	86	87	1	-26.3%	53
	灯油		127	79	62	42	75	52	46	47	167	120	31.5%	57
合計			52,288	36,562	37,689	40,482	39,671	41,346	40,684	36,214	37,223	1,009	-	23,216
削減率			—	30.1%	27.9%	22.6%	24.1%	20.9%	22.2%	30.7%	28.8%	-	-	55.6%

小数点の影響で合計値は一致しません



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

地球温暖化対策の2本柱

○ゼロカーボン推進補助事業

市民・事業者等のニーズや社会情勢を捉えた「補助制度の充実」

- 太陽光発電設備
- 定置用リチウムイオン蓄電池設置費
- 雨水貯留槽購入費
- 燃料電池自動車導入（FCV）
- 事業用太陽光発電システム設置費
- 家庭用燃料電池システム設置費（エネファーム）
- 電気自動車導入（EV）
- 電気自動車急速充電設備設置費

詳細は次ページ記載

※令和6年8月から、環境省「重点対策加速化事業」に基づく補助事業開始



○環境啓発推進事業

市民・事業者等の「+脱炭素」の取り組みに繋がる周知啓発



【環境ポータルサイト「エコ日和」】

【環境フェア】

【省エネチャレンジ】

2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

ゼロカーボン推進補助事業

本市の補助制度 R7年度予算 ①+②+③計 161,988千円

市単独補助 35,400千円
国「重点対策」126,588千円

個人向け事業

あ+い = 65,770千円・・・①

市単事業

補助名称	補助内容	補助単価(円)	予定件数	予算額
【FIT型】住宅用太陽光発電システム設置費	1kWあたり15,000円（上限50,000円）	50,000	150kW	7,500千円
家庭用燃料電池システム設置費（エネファーム）	1件あたり50,000円	50,000	65件	3,250千円
住宅用定置用リチウムイオン蓄電池設置費	〃	50,000	150件	7,500千円
雨水貯留槽購入費	本体購入金額の1/2（上限15,000円）	15,000	30件	450千円
計				18,700千円・・・あ

国の交付金
「重点対策加速
化事業」

補助名称	補助内容	補助単価(円)	予定件数	予算額
【自家消費型】住宅用太陽光発電システム設置費	1kWあたり70,000円	350,000	65件	22,750千円
住宅用定置用リチウムイオン蓄電池	蓄電池価格(工事費込・税抜)の1/3以内 (但し上限14.1万円/kWh×1/3)	188,000	65件	12,220千円
EMS(エネキーマネジメントシステム)	EMS設置経費の2/3以内	100,000	65件	6,500千円
既存住宅断熱改修（戸建12件・集合住宅1件）	設備費の1/3以内(但し上限1戸90万円/戸 ×1/3)	約430,000	13件	5,600千円
計				47,070千円・・・い

3点セット
65件

詳しくは

市のHP「地球温暖化対策設備等の導入を検討される方へ（補助金のご案内）」



ゼロカーボン推進補助事業

事業者向け事業

う+え=85,768千円・・・㊷

市単事業

補助名称	補助内容	補助単価(円)	予定件数	予算額
事業用太陽光発電システム設置費	補助対象経費の1/4（上限1,000,000円）	1,000,000	3件	3,000千円
電気自動車急速充電設備設置費	補助対象経費の4/5（上限500,000円）	500,000	2件	1,000千円
〃 普通充電設備設置費（R6.8申請開始）	1台150,000円	150,000	15件	2,250千円
計				6,250千円・・・う

国の交付金 「重点対策加速 化事業」

補助名称	補助内容	補助単価(円)	予定件数	予算額
【自家消費型】業務用太陽光発電システム設置費	1kWあたり50,000円	2,500,000	8件	20,000千円
〃 （ソーラーカーポート）	設置費の1/3以内	14,986,000	3件	44,958千円
事業用定置用リチウムイオン蓄電池	蓄電池価格(工事費込・税抜)の1/3以内 (但し上限16.0万円/kWh×1/3)	640,000	4件	2,560千円
業務用高効率 L E D 照明	設置費の1/2以内	500,000	10件	5,000千円
〃 給湯設備	設置費の1/2以内(但し上限100万円)	1,000,000	1件	1,000千円
〃 空調設備	設置費の1/2以内(但し上限100万円)	1,000,000	6件	6,000千円
計				79,518千円・・・え

市民・事業者ともに対象（次世代自動車関連）

10,450千円・・・㊸

市単事業

補助名称	補助内容	補助単価(円)	予定件数	予算額
電気自動車導入(EV)	1台あたり	50,000	200件	10,000千円
燃料電池自動車導入（FCV）	〃	150,000	3件	450千円
計				10,450千円・・・お

詳しくは

市のHP「地球温暖化対策設備等の導入を検討される方へ（補助金のご案内）」



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

ふじさわ省エネチャレンジ R6年度からスタート

ふじさわ省エネチャレンジは、市民・事業所を対象に、昨年と今年の電気使用量(kWh)の変化を報告していただくことで、日常生活に「+脱炭素」を意識していただくことを目的とした事業です。

抽選で30名様に当たる！

家庭部門



期間 2025年11月15日(土)
～2026年2月15日(日)

応募 ①11月分 ②12月分 ③1月分

対象 藤沢市内に在住の方(※)

※1年以上藤沢市内にお住まいで、電力会社からのお知らせにより、実施期間と前年同月の電気使用量(kWh)が確認できる方

ふじさわ
エコ日和

キャンペーン
ページ



藤沢でイチバンの
事業所はどこだ！

事業所部門



期間 2025年11月15日(土)
～2026年2月15日(日)

応募 11月分と12月分の合算

対象 藤沢市内に所在地を置く事業所(※)

※1年以上藤沢市内に拠点を置き、電力会社からのお知らせにより、実施期間と前年同月の電気使用量(kWh)が確認できる事業所

昨年と今年の電気使用量(kWh)の変化を報告いただいた世帯の中から、抽選で30名様に賞品を進呈します

前年同期間と比べた電気使用量(kWh)の削減率を参加事業所で競います。最も削減率の高い事業所は「省エネ優秀事業者」として表彰し、表彰状と賞品を進呈します。

「効果の見える化」を通じた啓発事業の実施



2050年 **ゼロ** カーボン

GOALS みんなで始めよう未来のために

2. 温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) 気候変動対策

気候変動による影響を回避するため原因を少なくする「緩和」と、よりよい生活ができるように影響を軽減していく「適応」が重要です。



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

出典) https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/index.html

温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策



本編P.38～に掲載

緩和とは？ 基本方針 1 省エネルギー対策の推進（その1）
原因を少なく

◆照明設備

照明の点灯時間を短くする
(54W の白熱電球 1 灯の点灯時間を
1 日 1 時間短縮した場合)

CO₂ 削減量：9.26kg/年
節約金額：530 円/年

省エネ型の LED ランプに取り替える
(54W の白熱電球から 9W の LED ラン
プに替えた場合)

CO₂ 削減量：42.30kg/年
節約金額：2,430 円/年



◆空調設備



冷房は必要な時だけつける
(設定温度 28℃ 冷房を 1 日 1 時間短
縮した場合)

CO₂ 削減量：8.82kg/年
節約金額：510 円/年

暖房は必要な時だけつける
(設定温度 20℃ 暖房を 1 日 1 時間短
縮した場合)

CO₂ 削減量：19.14kg/年
節約金額：1,100 円/年

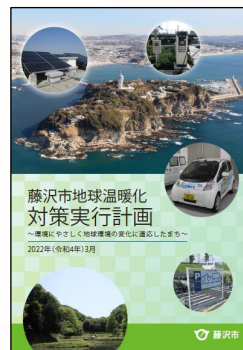
フィルターを月に 1 回か 2 回清掃する
(フィルターが目詰まりしているエア
コン(2.2kW)とフィルターを清掃した
場合の比較)

CO₂ 削減量：15.01kg/年
節約金額：860 円/年



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために



温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策

緩和とは？ 基本方針 1 省エネルギー対策の推進（その2）
原因を少なく

◆冷蔵設備



冷蔵庫にものを詰め込みすぎない
(詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較)

CO₂削減量：20.60kg/年
節約金額：1,180 円/年

冷蔵庫の温度を適切に設定する
(周囲温度 22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合)

CO₂削減量：29.00kg/年
節約金額：1,670 円/年

◆その他

液晶テレビの画面を明るすぎないようにする
(テレビ (32V 型) の画面の輝度を最適 (最大⇒中間) にした場合)

CO₂削減量：13.22kg/年
節約金額：730 円/年

使わないときはトイレのフタを閉める
(フタを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較 (貯湯式))

CO₂削減量：16.40kg/年
節約金額：940 円/年

暖房便座の温度を低めに設定する
(冷房期間は便座の暖房を OFF にし、便座の設定温度を一段階下げた (中⇒弱) 場合 (貯湯式))

CO₂削減量：12.40kg/年
節約金額：710 円/年



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策



緩和とは？ 基本方針 1 省エネルギー対策の推進

原因を少なく

◆周知啓発ほか 【ふじさわ環境フェア】



【環境ポータルサイト ふじさわエコ日和】



【LINE配信 COOLCHOICE藤沢】



【簡易型電力量表示器】の貸出



デコ活 くらしの中のエコろがけ

市民・事業者・行政の協働により、2050年における温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の実現を目指します。

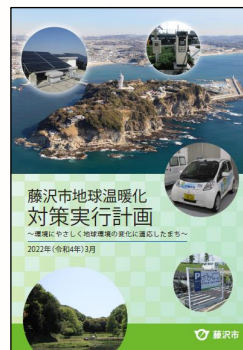
【環境省が進めるデコ活】

「デコ活」とは「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、二酸化炭素 (CO₂) を減らす (DE) 脱炭素 (Decarbonization) と、環境に良いエコ (Eco) を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために



温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策

緩和とは？ 基本方針 2 エネルギーの地産地消
原因を少なく

◆再生可能エネルギーの導入

本庁舎・分庁舎に導入した太陽光発電システム等



【太陽光パネル】

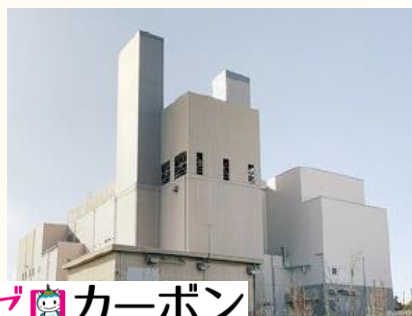


【ガスタービン発電装置・蓄電池設備】



【小型風力】

◆ごみ焼却発電による再生可能エネルギーの有効活用



北部環境事業所では、廃棄物焼却に伴う廃熱を利用して発電しています。
当該電力を施設で自家消費するほか、余剰電力を本市87施設に供給しています。



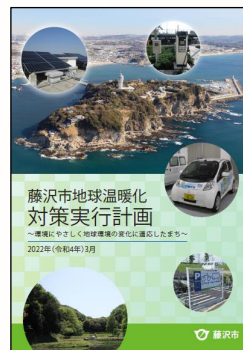
2050年 **ゼロ**カーボン

みんなで始めよう 未来のために

温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策



緩和とは？ 基本方針 3 環境にやさしい都市システムの構築
原因を少なく

本編P.45～に掲載

◆実施例



【サイクルアンドバスライド駐輪場】



【公用車電気自動車とEV充電設備】



◆緑化の推進

建物緑化助成制度のご案内

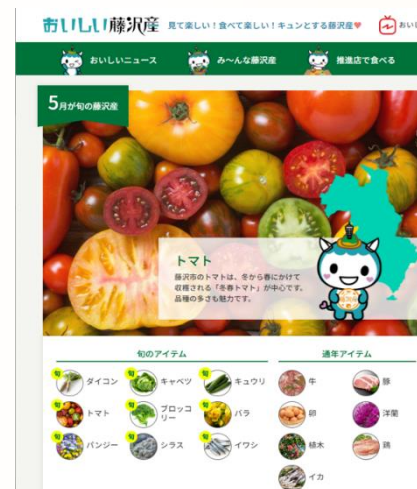
藤沢市では、みどり豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和等を目的として、建物の屋上や壁面を緑化する場合の工事費や緑のカーテンを設置する際の資材購入費の助成を行っています。ぜひご活用ください！

助成の内容

助成対象	屋上緑化		壁面緑化		緑のカーテン	
	個人居住用	事業用等	個人居住用	事業用等	個人居住用	事業用等
助成対象	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他
助成金額	・20万円	・100万円	・10万円	・50万円	・10万円	・10万円
助成対象	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他	・住宅用・店舗用・事務所・倉庫・工場・学校・病院・福祉施設・公共施設・商業施設・その他

◆地産地消の推進

おいしい藤沢産



【「おいしい藤沢産」ホームページ】

出典「藤沢市街路樹管理計画」2021年（令和3年）7月



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策



本編P.47～に掲載

緩和とは？ 基本方針 4 循環型社会の形成（その1）

原因を少なく

◆ごみの減量化・再資源化の促進



【マイボトル】



【市内給水スポット】



【給水スポット 本庁舎1, 5, 9F】



【ウォーターサーバー】
分庁舎、本庁舎、秋葉台文化体育館、
秩父宮記念体育館など



「もったいない」の気持ちで 食品ロス 減らそう！

フードドライブへご協力をお願いします

○受付期間

毎月第1月曜日から同じ週
の金曜日（祝日は除く）

○受付場所

環境総務課、
リサイクルプラザ藤沢、
各市民センター、公民館



食品ロスの情報はアプリから

フードシェアリングサービス

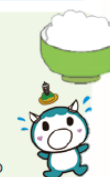
小田急沿線の情報



TABETE



KYODOKO



【フードドライブの推進】



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために



温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(2) 削減の取組例～日常生活における地球温暖化対策

緩和とは？ 基本方針 4 循環型社会の形成（その2）
原因を少なく

どうすれば、ごみが減らせるの？

3R

- Reduce (リデュース) 物を大切に使い、ごみを減らすこと
- Reuse (リユース) 使える物は、繰り返し使うこと
- Recycle (リサイクル) ごみを資源として再び利用すること

Reduce (リデュース)



買い物には**マイバッグ**を持参する

Reuse (リユース)



詰め替え用の製品を選ぶ

Recycle (リサイクル)

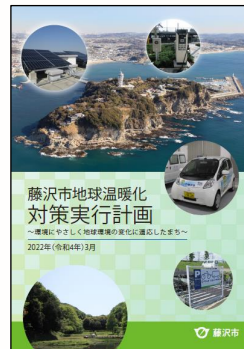


ごみを**正しく分別**する



2050年**ゼロ**カーボン

みんなで始めよう**未来**のために



温暖化対策の取組

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

緩和とは？ 基本方針 4 循環型社会の形成（その3）

原因を少なく

どうすれば、ごみが減らせるの？

食品ロスを減らす

食品ロスとは、本来、食べられたはずなのに捨てられている食べ物のこと

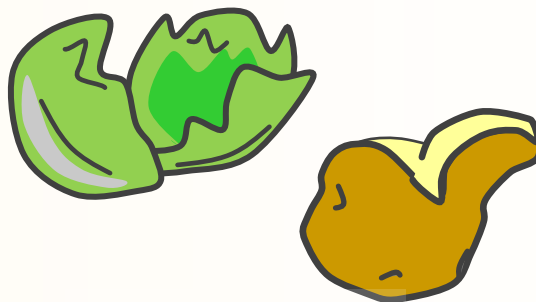
例えば…

食べ残し



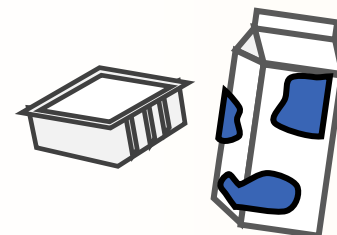
残さず食べましょう

むきすぎなど



食材はむだなく
使い切りましょう

期限切れ



必要な分だけ
買いましょう

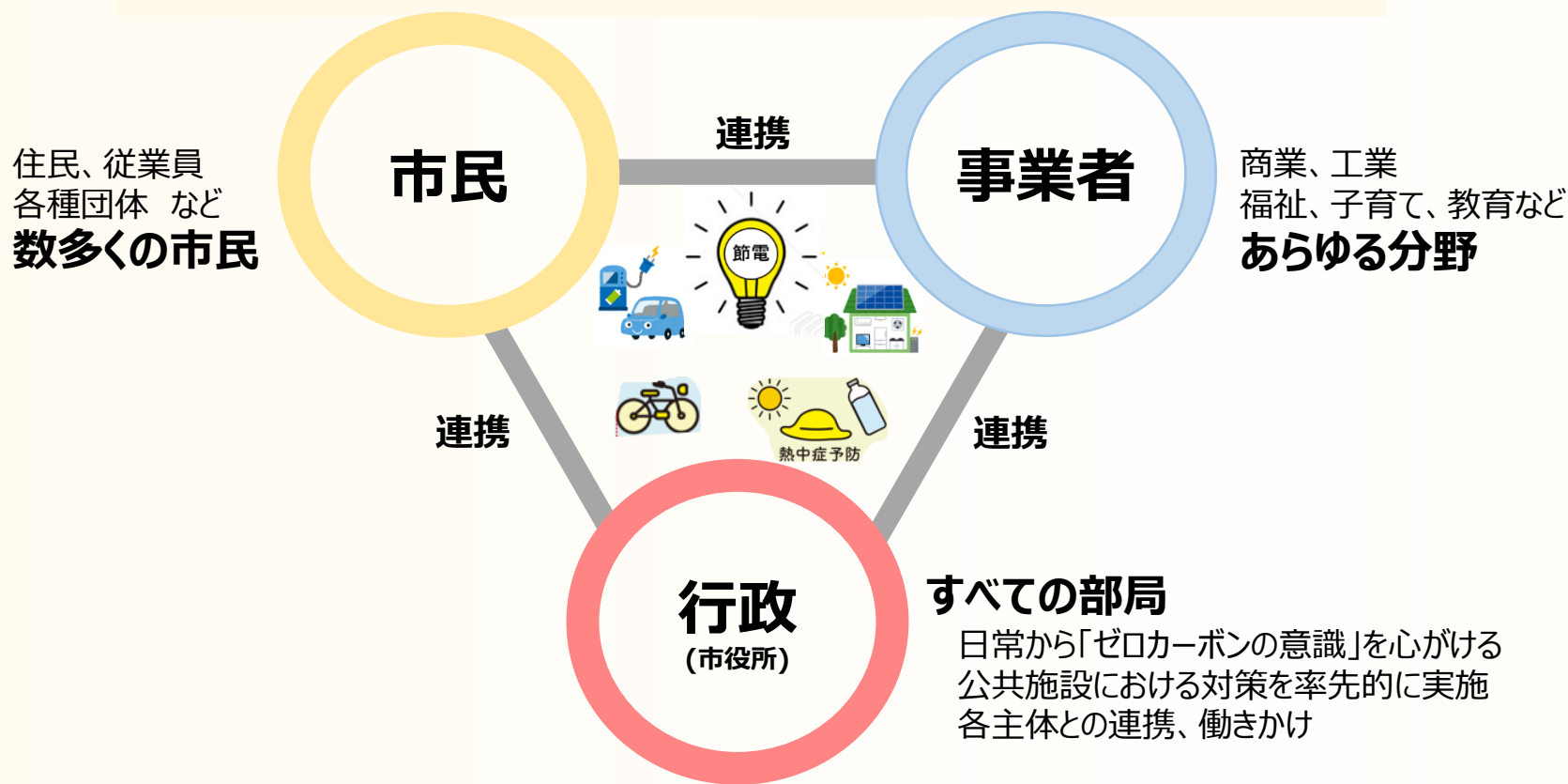


2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために

2050年ゼロカーボンCityふじさわの目指す姿

市民・事業者・行政が一体となってゼロカーボンに取り組む



2050年ゼロカーボン

みんなで始めよう未来のために



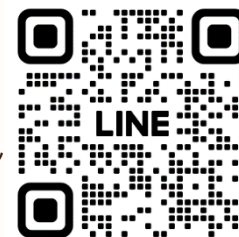
地球温暖化を止めるためには、
ひとりひとりの心がけと取り組みが大切です！



～LINE配信希望募集中！～

LINE公式アカウント「COOL CHOICE藤
沢」では、毎週金曜日
16：00に、環境に関する情報を発信し
ています。

情報発信を希望される場合は、ぜひゼロ
カーボン推進課まで！



▲友だち登録コード